

令和8年9月30日
関東森林管理局

令和8年度堅果類(ブナ)豊凶調査の結果について

- 関東森林管理局管内の国有林で堅果類(ブナ)の豊凶調査を実施。
○新潟県で豊作、福島県、群馬県、東京都で並作、埼玉県、神奈川県、静岡県で凶作、茨城県、栃木県、山梨県で大凶作でした。

関東森林管理局ではブナの天然更新の技術を向上させていくため、また、クマの出没傾向の参考情報とするため、結実状況調査実施要領及び豊凶判定要領を定め、堅果類(ブナ)の豊凶を国有林で調査しましたので、お知らせします。

都県	豊凶	豊凶指数	調査箇所数
福島県	並作	2.6	37
茨城県	大凶作	0.8	4
栃木県	大凶作	0.7	13
群馬県	並作	2.2	25
埼玉県	凶作	1.0	3
東京都	並作	3.0	2
神奈川県	凶作	1.4	5
新潟県	豊作	4.0	28
山梨県	大凶作	0.0	2
静岡県	凶作	1.1	20

- 注1 豊凶は、豊作・並作・凶作・大凶作に区分している。
注2 千葉県はブナが自生していない。
注3 民有林における豊凶については、都県が調査を行っている。
注4 令和7年度以前の結果については、(国研)森林総合研究所が公表している。
(国研)森林総合研究所／ブナ等結実状況データベース

【お問い合わせ先】

林野庁 関東森林管理局計画保全部計画課 笹木、松井、河村
TEL:027-210-1170

林野庁

(参考1)

豊凶調査の詳細

本調査は以下により行っています。以下については、関東森林管理局の堅果類(ブナ)結実状況調査実施要領及び豊凶判定要領を抜粋したものです。

【結実状況調査】

関東森林管理局管内の国有林内(福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、静岡県の1都9県)において、8月1日～9月中旬に結実状況を調査。

【豊凶判定】

箇所ごとの調査結果を下表に照らし合わせ、該当する区分のスコアを調査箇所ごとの豊凶指数とする。それらを都県ごとに集計して平均し、都県ごとの豊凶指数とする。

林分内の結実木の 本数割合の区分 ^(注1)	平均的な結実木の 実成りの区分 ^(注2)	スコア
無	非結実	0
少	一部、部分又は全体のいずれか	1
中	一部	1
	部分又は全体のいずれか	3
大	一部又は部分のいずれか	3
	全体	5

注1

無: 結実木が見当たらない

少: 林分内のわずかな木のみ結実

中: 林分内の約半数の木に結実

大: ほとんどの木で結実

注2

非結実: まったく実がない

一部: ごくわずかな実がついている

部分: 樹冠上部に多くの実がついている

全体: 樹冠全体に実がついている

各都県の豊凶指数から下表により各都県の豊凶を判定する。

豊凶指数	豊凶区分
1未満	大凶作
1以上2未満	凶作
2以上3.5未満	並作
3.5以上	豊作

大凶作	凶作	並作	豊作
-----	----	----	----

0

1.0

2.0

3.5

5.0

(参考2)

各都県の森林面積及び国有林面積

(単位:万ha)

都県	(a)森林面積	(b)うち国有林面積	割合 (b/a) (%)
福島県	97.0	40.7	42
茨城県	18.7	4.5	24
栃木県	34.7	12.7	37
群馬県	42.5	19.5	46
埼玉県	11.9	1.2	10
千葉県	14.8	0.8	5
東京都	7.9	0.8	10
神奈川県	9.4	1.0	11
新潟県	85.6	29.0	34
山梨県	34.8	0.5	1
静岡県	49.5	8.9	18
合計	406.8	119.5	29

注1 令和8年4月時点

注2 本表は四捨五入により合計の数値が一致しない場合があります。